

土石防だより



つつじの咲く頃（富士宮市）

新年度の御挨拶	2
平成31年度の行事予定	3
・かけ崩れ防災週間 ・土砂災害防止月間	
平成31年度砂防関係当初予算	4
あなたのまちの安全度	6
土砂災害に対する警戒避難体制整備促進の取り組み	8
「土砂災害防止に関する絵画・作文」優秀作品の表彰	10
防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策	12
わかまち（吉田町）	13
インフォメーション	14
募集・お知らせコーナー	16
土木事務所企画班砂防担当者の紹介	

速報 平成31年度 砂防関係当初予算

特集 あなたのまちの安全度

「土砂災害防止に関する絵画・作文」 優秀作品の表彰



全国治水砂防協会静岡県支部

新年度の御挨拶

陽春の候、会員の皆様には、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

4月1日付けで静岡県交通基盤部河川砂防局技監を拝命しました木村尚之です。このたび、全国治水砂防協会静岡県支部の常任幹事に就任しましたので、よろしくお願ひします。

昨年は、平成30年7月豪雨や北海道胆振東部地震等により、全国で3,451件と年平均の3倍を超える土砂災害が発生し、残念ながら161名と多くの尊い命が犠牲となるなど甚大な被害となりました。

本県においても、9月の台風24号などにより40件の土砂災害が発生し、負傷者2名、一部損壊等の住宅被害10戸となりました。このうち、山腹の崩壊や土砂の流出等の規模が大きく、今後の豪雨等により被害の拡大が危惧された土石流災害2箇所においては、災害関連緊急砂防事業により砂防堰堤の整備を緊急に実施しております。また、その他の箇所についても、市町や関係機関と調整を図り、早期の安全対策を実施しております。

国は、近年激甚化している自然災害により大きな被害が頻発していることから、全国で「重要インフラの緊急点検」を実施し、その結果を踏まえ、特に緊急に実施すべき対策として「防災・減災、国土強靱化のための緊急対策」をとりまとめ、平成30年度補正予算から3か年で集中的に実施することとしました。

県では、土砂災害から県民の生命と財産を守るため、この「3か年緊急対策」により、土砂災害防止施設を整備するハード対策と警戒避難体制の整備を図るソフト対策の両面から総合的な土砂災害対策を集中的に推進してまいります。

ソフト対策については、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定を推進しており、本年度末には土砂災害危険箇所18,581箇所全ての指定完了を目指しています。また、市町の避難勧告の発令や住民の自主避難などにつながる土砂災害警戒情報等の発表やインターネットによる指定区域図等の公表、土砂災害防止講習会や出前講座、防災訓練などによる防災知識の普及・啓発を進めています。

いずれの施策につきましても、会員の皆様との協調、連携により初めて成果をなすものでありますので、会員の皆様方には、今後ともより一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

平成31年4月1日

全国治水砂防協会静岡県支部 常任幹事

木村尚之

静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課

TEL 054-221-3042
FAX 054-221-3564

河川砂防局技監

木村 尚之

☎3040

砂防課長

村松 武馬

☎3382

課長代理

杉山 一仁

☎3382

- 課長の代理
- 砂防協会、砂防ボランティア事務

砂防班

副班長 松村 昌広 ● 県単砂防事業 ● 災関緊急砂防事業 ● 砂防指定地の指定 ● 伊豆東部火山群の火山噴火対策	班 長 佐野 裕庸 ● 砂防班の総括 ● 直轄砂防事業の調整 ● 富士山の火山噴火対策
主 査 土屋 勇太 ● 補助・交付金砂防事業 ● 砂防技術基準	主 査 渥美 晃岳 ● 警戒避難体制整備の促進 ● 砂防指定地内行為許可の内技術面の審査
技 師 神田 芽伊 ● 演習場周辺地区障害防止事業 ● 情報基盤整備事業 ● 基礎調査結果の公表 ● 土砂災害防止の広報・啓発	技 師 平田 和也 ● 基礎調査 ● 土砂災害警戒区域等の指定

傾斜地保全班

班 長 油井 克之 ● 傾斜地保全班の総括 ● 直轄地すべり事業の調整	主 査 松永 信一 ● 地すべり事業(林野) ● 災関緊急地すべり事業(林野) ● 地すべり区域の指定(林野) ● 県単急傾斜地事業
技 師 村井 達郎 ● 補助・交付金急傾斜地事業 ● 災関緊急急傾斜地事業 ● 急傾斜地崩壊対策の技術基準	主 査 岡田 友徳 ● 地すべり事業(農地) ● 災関緊急地すべり事業(農地) ● 地すべり区域の指定(農地) ● 急傾斜地崩壊危険区域の指定
技 師 大石 理智 ● 地すべり事業(国交) ● 災関緊急地すべり事業(国交) ● 地すべり区域の指定(国交) ● 土砂災害警戒情報	砂防協会 舟原 真美 ● 砂防協会の事務・経理

※ 指定地管理及び砂利・砕石関係事務等は、河川砂防管理課 ☎3028 (課長)伊藤 通宏
「河川砂防管理課」で担当します。 河川砂防管理班 ☎3034 (班長)北山 真邦 (主査)田中 宏和 (主事)柿本 直樹

※ 水防に関する事、交通基盤部内の防災対策の総合調整及び災害復旧事業の総括に関する事については、土木防災課 ☎3033
同室内にある「土木防災課」で担当します。

【平成31年度の行事予定】

月 日	時刻	活 動	会場等
4月 17日(水)		全国治水砂防協会静岡県支部会計監査	中島屋グランドホテル(静岡市)
5月 22日(水)	14:15	全国治水砂防協会静岡県支部役員会	中島屋グランドホテル(静岡市)
// 22日(水)	15:15	全国治水砂防協会静岡県支部平成31年度(第74回)通常総会	中島屋グランドホテル(静岡市)
// 30日(木)	11:00	(一社)全国治水砂防協会平成31年度(第83回)通常総会	砂防会館(東京都)
6月 1日(土)~7日(金)		がけ崩れ防災週間	静岡県内各地
// 1日(土)~30日(日)		土砂災害防止月間	静岡県内各地
// 2日(日)		土砂災害・全国防災訓練	静岡県内各地
// 14日(金)		市町等砂防担当職員研修(防災演習)	静岡県庁
// 15日(土)		みんなで防ごう土砂災害(砂防フェスティバル)	青葉シンボルロード(静岡市)
8月28日(水)~30日(金)		市町長等砂防関係事業県外視察	北海道
10月 下旬		東海地区砂防協会支部長・砂防課長合同会議	静岡県内
11月 19日(火)	11:00	全国治水砂防促進大会	砂防会館(東京都)
// 下旬		市町等砂防担当職員研修(現場研修)	静岡県内
2月 中旬		第59回砂防および地すべり防止講習会	砂防会館(東京都)

※太字の行事について、会員の積極的なご参加をお願い申し上げます。

がけ崩れ防災週間 土砂災害防止月間

6月1日(土)▶ 7日(金)

6月1日(土)▶ 30日(日)

土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害は、台風や集中豪雨などが原因となって発生します。梅雨時は雨が多く土砂災害が発生しやすい時期です。近年は頻発化する局地的豪雨による被害が増えていますので、雨が降りだしたら防災・気象情報などに注意しましょう。

毎年、梅雨入りを迎える6月を土砂災害防止月間として、県民が土砂災害防止について理解と関心を深めるため、国、県、市町などの関係機関が連携し、急傾斜地パトロールや防災訓練、講習会などを実施しています。

行 事 予 定

6月1日~30日	急傾斜地パトロール(重点実施)
6月 2日	土砂災害・全国防災訓練
6月 15日	みんなで防ごう土砂災害(砂防フェスティバル)の開催(青葉シンボルロード)
6月1日~ 9月15日	「土砂災害防止に関する絵画・作文」の 作品募集



平成30年度 砂防フェスティバルの様子

平成31年度 砂防関係当初予算

128億745万円余

平成31年度当初予算が平成31年2月県議会定例会において可決され、静岡県一般会計の歳出総額は1兆2,066億円で、前年度に比べ194億円の増、対前年度比101.6%でした。

砂防関係事業の予算は、国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を踏まえ、予算総額約128億745万円、前年度より32億6,800万円の増、対前年度比134.3%と大幅な増額となりました。

主な内訳は次のとおりです。

① 一般公共事業 86億2,700万円（前年度当初比135.9%）

国の補助や交付金を得て、溪流、急傾斜地等に砂防施設等の整備を行うとともに、「土砂災害防止法」に基づく区域指定のための基礎調査等を実施します。

② 県単独事業 23億3,500万円（前年度当初比147.3%）

国庫補助事業や交付金事業に採択されない箇所について、砂防、地すべり防止、急傾斜地崩壊防止工事を実施します。

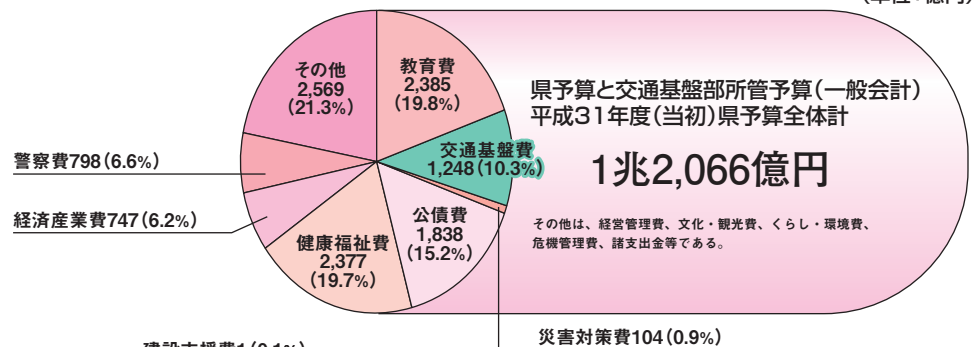
③ 国直轄事業費負担金 16億600万円（前年度当初比100.0%）

富士山、安倍川、狩野川において、国土交通省が行う直轄砂防事業及び由比地区直轄地すべり対策事業に対する県負担金です。

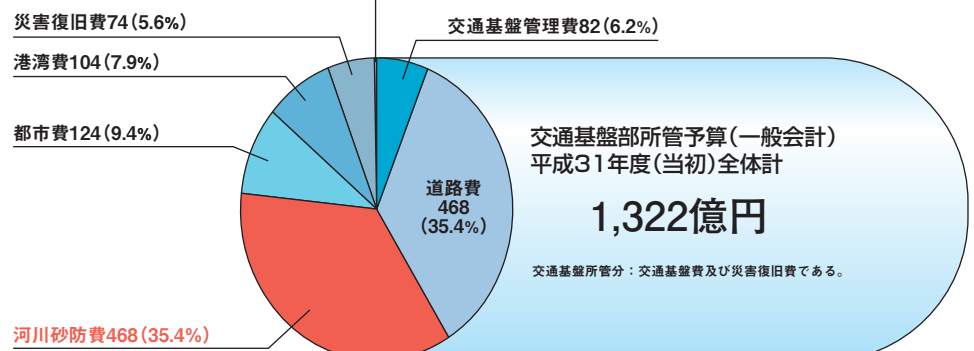
静岡県の砂防関係予算

（単位：億円）

● 県予算と交通基盤部予算 （平成31年度当初）



● 交通基盤部所管予算 （平成31年度当初）

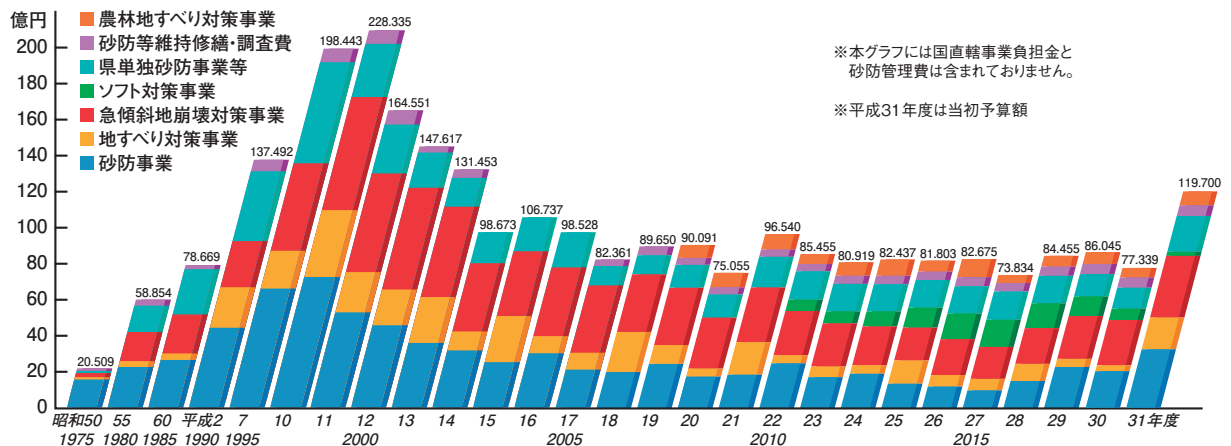


(単位：千円、%)

●平成31年度 砂防関係事業等予算額調書

事業名	平成31年度	平成30年度		A/B	A/C
	当初 A	当初 B	最終 C		
★砂防管理費(第1目)計	2,453	2,453	2,453	100.0	100.0
砂防事業			140,000		皆減
急傾斜地崩壊対策事業					
豪雨対策緊急事業			140,000		皆減
長寿命化(砂防)	55,000				皆増
長寿命化(地すべり)	30,000				皆増
長寿命化(急傾斜)	152,000				皆増
災害等予防保全緊急対策事業	237,000				皆増
河川改良費(第2目)計	237,000		140,000		皆増 169.3
国庫補助					
通常砂防事業	271,975				皆増
火山砂防事業	316,155				皆増
砂防事業計	588,130				皆増
地すべり対策	144,900				皆増
急傾斜地崩壊対策	725,970				皆増
特定緊急砂防					
特定緊急地すべり対策					
通常国庫補助事業計	1,459,000				皆増
砂防					
通常砂防事業	1,395,700	672,000	632,100	207.7	220.8
火山砂防事業	388,500	357,000	467,250	108.8	83.1
火山噴火緊急減災対策	231,000	26,250	21,000	880.0	1100.0
砂防事業計	2,015,200	1,055,250	1,120,350	191.0	179.9
地すべり対策	228,900	296,100	265,860	77.3	86.1
地すべり対策事業計	228,900	296,100	265,860	77.3	86.1
急傾斜地崩壊対策	2,514,750	2,230,550	2,482,839	112.7	101.3
急傾斜地崩壊対策事業計	2,514,750	2,230,550	2,482,839	112.7	101.3
緊急改築(砂防)	173,000	21,000	376,110	823.8	46.0
緊急改築(地すべり)	105,000	76,650	56,314	137.0	186.5
緊急改築(急傾斜)			24,326		
情報基盤緊急整備	52,500	36,750	36,750	142.9	142.9
基礎調査	173,250	724,500	598,500	23.9	28.9
総合流域防災事業計	503,750	858,900	1,092,000	58.7	46.1
効果促進事業(ソフト)	400	200	200	200.0	200.0
防災・安全交付金計	5,263,000	4,441,000	4,961,249	118.5	106.1
東富士演習場周辺地区障害防止対策事業	90,000	90,000	10,702	100.0	841.0
災害関連緊急砂防	362,000	362,000	512,953	100.0	70.6
災害関連緊急地すべり対策	1,280,000	1,280,000		100.0	皆増
災害関連緊急急傾斜地崩壊対策	173,000	173,000		100.0	皆増
災害関連緊急事業計	1,815,000	1,815,000	512,953	100.0	353.8
一般公共事業計	8,627,000	6,346,000	5,484,904	135.9	157.3
生活環境整備					
通常砂防	370,000	377,000	377,000	98.1	98.1
地すべり対策	40,000	50,000	50,000	80.0	80.0
急傾斜地崩壊対策	585,400	586,400	586,400	99.8	99.8
砂防等維持修繕	285,000	284,000	284,000	100.4	100.4
砂防等調査	175,600	168,600	168,600	104.2	104.2
砂防等台帳整備	11,000	11,000	11,000	100.0	100.0
生活環境整備事業計	1,467,000	1,477,000	1,477,000	99.3	99.3
施設整備	100,000	90,000	90,000	111.1	111.1
指定促進対策	18,000	18,000	18,000	100.0	100.0
急傾斜地崩壊対策事業費補助	118,000	108,000	108,000	109.3	109.3
砂防県単事業計	1,585,000	1,585,000	1,585,000	100.0	100.0
緊急					
砂防	435,000				皆増
急傾斜地崩壊対策	315,000				皆増
緊急自然災害防止対策事業	750,000				皆増
砂防	805,000	377,000	377,000	213.5	213.5
地すべり対策	40,000	50,000	50,000	80.0	80.0
急傾斜地崩壊対策	1,018,400	694,400	694,400	146.7	146.7
その他(維持修繕・調査)	471,600	463,600	463,600	101.7	101.7
県単事業計	2,335,000	1,585,000	1,585,000	147.3	147.3
砂防費(第4目)計	10,962,000	7,931,000	7,069,904	138.2	155.1
一般公共					
農地地すべり	266,000	226,000	212,300	117.7	125.3
農地地すべり(災害関連分)	23,000	23,000		100.0	皆増
治山地すべり	280,000	199,000	174,675	140.7	160.3
治山地すべり(災害関連分)	65,000	65,000		100.0	皆増
農林地すべり一般公共事業計	634,000	513,000	386,975	123.6	163.8
県単					
農地地すべり	63,000	63,000	63,000	100.0	100.0
農地地すべり(災害関連分)	74,000	74,000	74,000	100.0	100.0
生活環境整備事業計	137,000	137,000	137,000	100.0	100.0
農林地すべり県単事業計	137,000	137,000	137,000	100.0	100.0
農地地すべり	329,000	289,000	275,300	113.8	119.5
治山地すべり	354,000	273,000	248,675	129.7	142.4
災害関連分	88,000	88,000		100.0	皆増
農林地すべり対策費(第5目)計	771,000	650,000	523,975	118.6	147.1
★国直轄事業費負担金(第6目)計	1,606,000	1,606,000	2,276,330	100.0	70.6
合計	13,578,453	10,189,453	10,012,662	133.3	135.6
合計から★を除く	12,807,453	9,539,453	9,488,687	134.3	135.0
合計から★を除く	11,970,000	8,581,000	7,733,879	139.5	154.8

●砂防関係事業費の推移



あなたのまちの安全度

静岡県は、山地が多く、地形的に急峻で、脆い地質が全県的に分布し、18,581箇所もの土砂災害危険箇所があります。県では、土砂災害から県民の生命・身体を守るため、砂防堰堤・擁壁などの土砂災害防止施設の整備とともに、「土砂災害への危険箇所の周知（インターネットによる指定区域図の公表等）、土砂災害警戒情報の発表などのソフト対策を合わせ

市町別土砂災害危険箇所数とソフト対策の実施状況

(平成31年3月31日 現在)

所管 土木	市町名	土砂災害危険箇所数				土砂災害警戒区域指定状況				警戒区域 ハザード マップ
		土石流	地すべり	急傾斜地	計	土石流	地すべり	急傾斜地	計	
下田	下田市	261		348	609	255		344	599	550
	東伊豆町	32	8	65	105	31	6	64	101	77
	河津町	110	5	131	246	104	5	129	238	124
	南伊豆町	298	1	277	576	293	1	276	570	393
	松崎町	107	1	144	252	104	1	142	247	221
	西伊豆町	93	1	137	231	92	1	136	229	212
	小 計	901	16	1,102	2,019	879	14	1,091	1,984	1,577
熱海	熱海市	105	1	189	295	105	1	177	283	232
	伊東市	105	2	248	355	107	2	231	340	303
	小 計	210	3	437	650	212	3	408	623	535
沼津	沼津市	129		253	382	121		237	358	245
	三島市	21		102	123	22		94	116	87
	御殿場市	30		21	51	30		21	51	37
	裾野市	53		61	114	51		60	111	77
	伊豆市	586	12	590	1,188	487		383	870	870
	伊豆の国市	143	2	314	459	120	1	221	342	286
	函南町	37	1	105	143	30	1	63	94	11
	清水町	2		16	18	2		17	19	19
	長泉町	2		32	34	2		35	37	38
	小山町	47		82	129	47		57	104	104
小 計	1,050	15	1,576	2,641	912	2	1,188	2,102	1,774	
富士	富士宮市	109	2	293	404	97	1	296	394	367
	富士市	54	2	175	231	53	1	174	228	219
	小 計	163	4	468	635	150	2	470	622	586
静岡	静岡市	1,021	32	2,039	3,092	994	14	1,933	2,941	2,731
	小 計	1,021	32	2,039	3,092	994	14	1,933	2,941	2,731
島田	島田市	240	46	545	831	234	24	540	798	733
	焼津市	33	1	61	95	29	1	60	90	90
	藤枝市	236	38	511	785	235	27	500	762	735
	牧之原市	41	5	421	467	41		419	460	342
	吉田町			13	13			12	12	12
	川根本町	59	10	198	267	42		163	205	205
	小 計	609	100	1,749	2,458	581	52	1,694	2,327	2,117
袋井	磐田市	97		254	351	94		252	346	342
	掛川市	282	25	1,119	1,426	184	11	981	1,176	1,021
	袋井市	50		292	342	48		268	316	224
	御前崎市	16	1	353	370	16		349	365	365
	菊川市	92	4	625	721	71		558	629	533
	森町	93	17	463	573	76	5	393	474	394
	小 計	630	47	3,106	3,783	489	16	2,801	3,306	2,879
浜松	天竜区	353	117	1,016	1,486	329	67	973	1,369	
	天竜区以外	221	20	1,339	1,580	181	5	1,148	1,334	
	浜松市計	574	137	2,355	3,066	510	72	2,121	2,703	2,429
	湖西市	5		232	237	2		169	171	165
	小 計	579	137	2,587	3,303	512	72	2,290	2,874	2,594
合 計	5,163	354	13,064	18,581	4,729	175	11,875	16,779	14,793	

■ 警戒区域ハザードマップ：土砂災害防止法8条3項に定められた、市町村が作成するハザードマップ



静岡県の土砂災害情報は、
<https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/sabouka/dosyasaigaijouhoumap.html>
 でご覧になれます。

害防止法」に基づく土砂災害警戒区域等の区域指定や住民
 た、総合的な土砂災害対策を進めています。

市町別ハード対策（土砂災害防止施設の整備）の実施状況

(平成31年3月31日 現在)

所管 土木	市町名	土石流			地すべり			急傾斜地			合 計		
		採択可能 渓流数	概 成 渓流数	整備率 (%)	採択可能 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	採択可能 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	採択可能 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)
下田	下田市	94	17	18.1%				164	32	19.5%	258	49	19.0%
	東伊豆町	16	8	50.0%	6	1	16.7%	38	8	21.1%	60	17	28.3%
	河津町	53	14	26.4%	5	2	40.0%	44	13	29.5%	102	29	28.4%
	南伊豆町	119	11	9.2%	1	1	100.0%	131	40	30.5%	251	52	20.7%
	松崎町	71	8	11.3%	1	1	100.0%	77	22	28.6%	149	31	20.8%
	西伊豆町	64	18	28.1%	1			67	20	29.9%	132	38	28.8%
	小 計	417	76	18.2%	14	5	35.7%	521	135	25.9%	952	216	22.7%
熱海	熱海市	91	17	18.7%	1			95	15	15.8%	187	32	17.1%
	伊東市	82	24	29.3%	2	1	50.0%	110	26	23.6%	194	51	26.3%
	小 計	173	41	23.7%	3	1	33.3%	205	41	20.0%	381	83	21.8%
沼津	沼津市	96	21	21.9%				128	73	57.0%	224	94	42.0%
	三島市	15	2	13.3%				39	16	41.0%	54	18	33.3%
	御殿場市	8	6	75.0%				3			11	6	54.5%
	裾野市	23	11	47.8%				24	6	25.0%	47	17	36.2%
	伊豆市	328	58	17.7%	8	1	12.5%	148	43	29.1%	484	102	21.1%
	伊豆の国市	74	5	6.8%	1			82	31	37.8%	157	36	22.9%
	函南町	14	4	28.6%	1			32	7	21.9%	47	11	23.4%
	清水町	2	1	50.0%				11	1	9.1%	13	2	15.4%
	長泉町	1						18	3	16.7%	19	3	15.8%
	小山町	35	10	28.6%				37	21	56.8%	72	31	43.1%
小 計	596	118	19.8%	10	1	10.0%	522	201	38.5%	1,128	320	28.4%	
富士	富士宮市	66	18	27.3%	1			81	23	28.4%	148	41	27.7%
	富士市	48	17	35.4%	1	1	100.0%	55	32	58.2%	104	50	48.1%
	小 計	114	35	30.7%	2	1	50.0%	136	55	40.4%	252	91	36.1%
静岡	静岡市	540	132	24.4%	11	4	36.4%	654	303	46.3%	1,205	439	36.4%
	小 計	540	132	24.4%	11	4	36.4%	654	303	46.3%	1,205	439	36.4%
島田	島田市	83	17	20.5%	26	7	26.9%	132	70	53.0%	241	94	39.0%
	焼津市	13	7	53.8%	1	1	100.0%	25	20	80.0%	39	28	71.8%
	藤枝市	69	28	40.6%	27	9	33.3%	117	62	53.0%	213	99	46.5%
	牧之原市	13	12	92.3%	2	3	150.0%	57	25	43.9%	72	40	55.6%
	吉田町							3	2	66.7%	3	2	66.7%
	川根本町	23	4	17.4%				33	14	42.4%	56	18	32.1%
	小 計	201	68	33.8%	56	20	35.7%	367	193	52.6%	624	281	45.0%
袋井	磐田市	20	2	10.0%				33	4	12.1%	53	6	11.3%
	掛川市	39	2	5.1%	11	7	63.6%	102	27	26.5%	152	36	23.7%
	袋井市	7						30	11	36.7%	37	11	29.7%
	御前崎市	1						33	18	54.5%	34	18	52.9%
	菊川市	9	2	22.2%		1		84	35	41.7%	93	38	40.9%
	森町	23	6	26.1%	5	2	40.0%	26	4	15.4%	54	12	22.2%
	小 計	99	12	12.1%	16	10	62.5%	308	99	32.1%	423	121	28.6%
浜松	天竜区	128	51	39.8%	66	24	36.4%	306	84	27.5%	500	159	31.8%
	天竜区以外	43	10	23.3%	5	4	80.0%	281	65	23.1%	329	79	24.0%
	浜松市計	171	61	35.7%	71	28	39.4%	587	149	25.4%	829	238	28.7%
	湖西市							54	9	16.7%	54	9	16.7%
	小 計	171	61	35.7%	71	28	39.4%	641	158	24.6%	883	247	28.0%
合 計		2,311	543	23.5%	183	70	38.3%	3,354	1,185	35.3%	5,848	1,798	30.7%

■土石流危険渓流はH15公表による危険渓流I

■急傾斜地崩壊危険箇所はH15公表による危険箇所I

土砂災害に対する

警戒避難体制整備促進の取り組み

1 土砂災害警戒区域等の指定

静岡県では、土砂災害防止法に基づき土砂災害警戒区域等の指定を行っています。平成30年度は1,361区域を指定し、累計で16,779区域となっています。（P6「あなたのまちの安全度」参照）。

指定箇所について、市町は、警戒区域ごとの警戒避難体制に関する事項、要配慮者利用施設への情報伝達方法などを地域防災計画に定め、ハザードマップ等の印刷物を作成・配布することになっており、平成30年度末までに指定区域の88.2%にあたる14,793箇所のハザードマップの作成・配布が完了しています。

県は、ハザードマップの作成事例や「土砂災害警戒区域における警戒避難体制整備ガイドライン」を配布するなど、市町を支援しています。

指定区域は、砂防課・関係土木事務所・関係市町で縦覧するほか、砂防課ウェブサイトで公開しています。

2 「土砂災害・全国防災訓練」の実施：平成31年6月2日(日)

「土砂災害・全国防災訓練」は、集中豪雨等による土砂災害が発生した場合に備え、警戒避難体制の確認と防災意識の高揚を目的に、県内35市町で実施します。土砂災害警戒情報の発表後に住民が避難所まで避難するなど、実践的な訓練を主体に構成され、今年度は要配慮者利用施設との連携に重点を置くほか、ハザードマップを活用した「避難場所」・「避難経路」の現地確認、要配慮者の避難の支援、土砂災害防止講習会なども実施します。

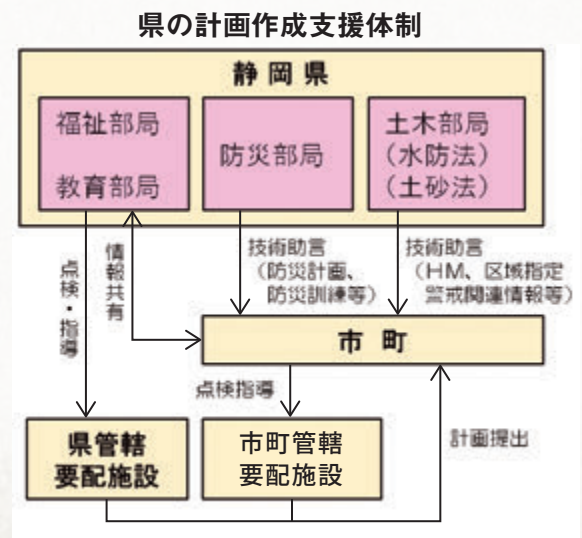
3 要配慮者利用施設の避難確保計画作成に向けた支援

平成29年6月に土砂災害防止法が改正され、土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設であって、利用者の円滑かつ迅速な避難を確保する必要があるとして市町地域防災計画に記載された施設では、避難確保計画の作成及び避難訓練の実施が義務付けられました。

県では、庁内関係部局が連携する要配慮者利用施設の避難確保計画作成等の支援体制を構築し、市町が主催する施設管理者向け講習会や職員向け勉強会への講師派遣等を行っています。



避難確保計画作成研修会
(平成30年7月12日 川根本町)



4 土砂災害防止講習会等の実施

土砂災害による被災を免れるためには、住民の「日頃の備えと早めの避難」が重要です。このため、静岡県では、土砂災害の恐ろしさ、ハザードマップの活用方法、気象情報や防災情報により取るべき避難行動など防災知識についての土砂災害防止講習会や小中学校への出前講座などを行っています。

県職員が説明に伺いますので、市町で実施している防災訓練や防災講座等に積極的に活用してください。

平成30年度 土砂災害防止講習会：29市町で42回実施、3,244人が参加

開催日	主体	人数	開催日	主体	人数	開催日	主体	人数	開催日	主体	人数	
4月8日	熱海市	30名	6月3日	函南町	73名	6月3日	森町	57名	9月19日	掛川市	162名	
	下田市	68名		富士市	59名		浜松市	60名	10月11日	熱海市	35名	
	東伊豆町	71名		富士宮市	52名		静岡市	20名	11月8日	藤枝市	55名	
	河津町	16名		島田市	61名		吉田町	24名	11月20日	島田市	26名	
	南伊豆町	22名		藤枝市	188名		伊東市	53名	12月2日	河津町	99名	
	松崎町	57名		牧之原市	30名		藤枝市	124名		伊豆の国市	33名	
	西伊豆町	155名		焼津市	174名		掛川市	117名	御前崎市	213名		
	熱海市	148名		川根本町	33名		静岡市	130名		2月6日	伊豆の国市	46名
	伊豆の国市	71名		磐田市	182名		熱海市	20名	2月7日	静岡市	25名	
	裾野市	115名		袋井市	119名		静岡市	25名	合計	29市町	42回	3,244名
	沼津市	99名		菊川市	57名		沼津市	40名	※H29	24市町	32回	3,318名

5 活用しよう!! 「土砂災害警戒情報」で「早めの避難」

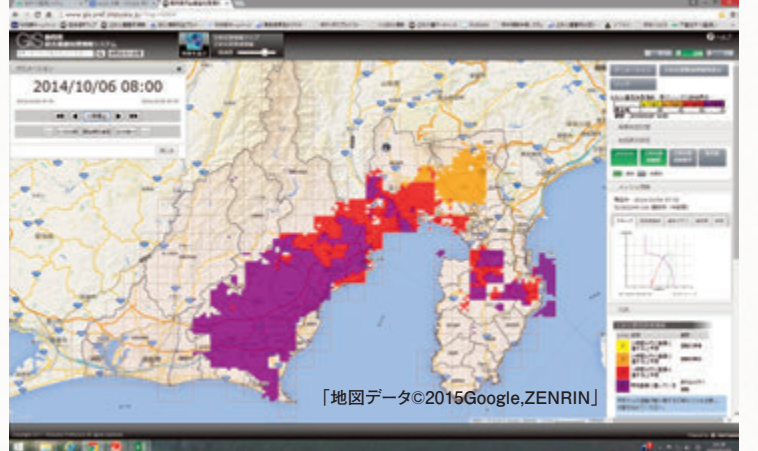
●土砂災害警戒情報を確認する!

「土砂災害警戒情報」は、今後の大雨により土砂災害の発生する危険性が高まった地域（市町）において、県と静岡地方気象台が共同で発表するもので、地デジやパソコン、携帯電話等にて確認することができます。

土砂災害から命を守るためには、刻々と変化する気象情報をいち早く確認し、最新の情報をもとに警戒避難行動を起こすことが重要です。

パソコンで確認!!

- ※サイポスレーダー (<http://sipos.pref.shizuoka.jp>)
- ※サイポスレーダースマートフォンのみ (<http://www.gis.pref.shizuoka.jp/?mp=9004-1>)
- ・土砂災害警戒情報等の発表状況を見ることができます。
- ・県内市町の土砂災害に対する切迫性を見ることができます。



携帯電話で確認!!!

- ※サイポスレーダースmartフォン版 (<http://sipos.pref.shizuoka.jp>)
- ※サイポスレーダー携帯電話版 (<http://sipos.shizuoka2.jp/m/>)
- ・下記コードを携帯電話で読み取ってください



スマートフォン版



携帯電話版



・土砂災害警戒情報の発表文を見ることができます。



平成30年度

「土砂災害防止に関する絵画・作文」 優秀作品の表彰

平成30年度に、土砂災害防止月間の取組みの一環である「土砂災害防止に関する絵画・作文」を募集したところ、昨年の79点を大きく上回る103点の応募があり、応募作品の中から、静岡県知事賞他5点の計6点が入賞しました。

3月25日（月）に県庁で行われた表彰式では、ご家族の方々が見守る中、静岡県交通基盤部長より、受賞者の皆さんに表彰状が授与されました。



受賞者と交通基盤部長、砂防課長の集合写真



静岡県知事賞を受賞した海野文音さんの表彰風景

■栄えある受賞者のみなさん

賞	部門	学年	受賞者名	学校
静岡県知事賞	小学生 作文	5	うんの 海野 あやね 文音	静岡市立井宮北小学校
静岡県 交通基盤部長賞	小学生 絵画	4	こいで 小出 りょうや 竜矢	静岡市立清水有度第一小学校
全国治水砂防協会 静岡県支部長賞	中学生 作文	3	もちつき 望月 つばさ 翼	静岡市立清水小島中学校
	中学生 絵画	2	やまだ 山田 ちづる 千鶴	静岡県立浜松西高等学校中部
	中学生 絵画	1	すぎやま 杉山 みつき 美月	御殿場市立高根中学校
	中学生 絵画	1	やまくち 山口 あいり 愛莉	小山町立北郷中学校

(敬称略)

交通基盤部長賞
〈絵画の部〉



静岡市立清水有度第一小学校
4年 小出 竜矢さん

全国治水砂防協会
静岡県支部長賞
〈絵画の部〉



静岡県立浜松西高等学校中部
2年 山田 千鶴さん



御殿場市立高根中学校
1年 杉山 美月さん



小山町立北郷中学校
1年 山口 愛莉さん

静岡県知事賞〈作文の部〉

「えんていと大切な命」 静岡市立井宮北小学校 5年 海野 文音 さん

最近、いろいろな県で、水害や土しゃくずれなどの自然災害が起きています。その災害から守り、にげる時間をかせいでくれるのが、「えんてい」です。

私が、えんていを知ったきっかけは、6月に行われていた、土しゃ災害防止月間のイベントでした。そこで、えんていのもけいを使って、えんていが、土しゃをせき止めたり、土しゃの速さや広がりをおさえるしくみを教えてもらいました。

家に帰り、さっそくそのことを、家族に話したところ、祖父が安倍川の上流へ連れていってくれました。

そこで、えんていには、小さなえんていと、大きなえんていがあることを知りました。小さなえんていは、山の上流の水を集める役わりをしていて、大きなえんていには、土しゃや、川の水を最大限に、くい止めてくれる事を祖父から教えてもらいました。

しかし、そのえんていがあっても、土しゃくずれやこう水が起きてしまうことを、七月のごう雨のニュースを見ておそろしくなりました。

たくさんの方々大切な命が失われ、そのげんいんの一つに、ひなんけいほうが出て、安全な場所にひなんしなかった事が挙

げられています。

水がふえる速さは、想像もできないほど早く、建て物や車そして、人ものみこんでいきました。

私の住んでいるところは、ハザードマップを見た所、安全な地いきのようでした。しかし、四十年ほど前にあった七夕ごう雨の時には、水がくるぶしにくるぐらい水につかったそうです。その時はそのていどですみましたが、今は地形も、自然も、昔とはとても変わっていて、昔から、安全だからなどと言ってひなんけいほうが出て、にげないことは、絶対にだめだと思いました。

祖父から、にげえる時は「てんでんこ」と教えてもらいました。その言葉の意味は、命を守るために、にげる時は、祖父を置いてでもにげ切りなさい、と言われました。

私は、その話を聞きとても悲しく、せつない気持ちになりました。けれども、本当にそうならないように、早めのひなんを家族でしようと決めました。

土しゃ災害を少しでもふせいで、大切な命を守りたい、そう思ってえんていを作っている人達の事も考えて、行動し、大切な命を守っていきたいと思います。

全国治水砂防協会静岡県支部長賞〈作文の部〉

「姿をかえてしまう山」 静岡市立清水小島中学校 3年 望月 翼 さん

普段、私達の生活にとけこんでいる山。山登りをしたり、山菜採りをしたりする。あるいは普通に生活を送っている時の風景にしかすぎないのかもしれない。まとめていうと山は、私達に身近なものである。

しかし、この山も今言ったような良い面もあれば、恐ろしい災害をひき起こす悪い面もある。山の恐ろしい一面を思い知るきっかけとなった大きな災害が西日本であった。それは、「西日本豪雨（平成30年7月豪雨）」である。6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心に降ったこの集中豪雨は、死者220人、負傷者約400人、行方不明者10人を出すという大きな爪痕を残した。そして亡くなった220人のうち99人は、土砂災害で亡くなったという。この被害の状況をテレビで見て、とてもおどろいた。

この西日本豪雨の中に広島県広島市にある安佐南区と安佐北区があることに気付いた。この2つの地区は、平成26年8月豪雨でも西日本豪雨と同じように土砂災害が発生し、74人が亡くなるなどの被害が出ていた。4年前に同じように土砂災害が起きて死者が出てしまっていたのに、なぜ今回も同じ土砂災害で死者を出してしまうようなことになったのかすごく不思議に思った。そしてさらに調べていくと平成26年8月よりも前にもう一つ1999年6月29日にも土砂災害による被害が出ていたことがわかった。

3回も土砂災害を経験しているのに、なぜ同じことをくり返してしまうのか、調べていくうちにあることが原因ではないかと思うようになった。それは、過去の教訓に対する認知が低いからなのではないかと思った。1999年に発生した土砂災害の場所と平成26年8月に発生した土砂災害の場所は、ほぼ、隣接していることが分かった。これは明らかに過去の教訓を生かすことができていないと思う。過去に起きたような災害がもう一度発生するのではないかと少しでも思ったら、行政が早めに避難勧告等の避難をうながす指示を過去の教訓を生かして住民に発信してい

ば、救うことのできた命も多くあったのではないかと思う。しかし、すべて行政まかせにするのではなく、そこに住んでいる住民たちが日ごろ土砂災害の危険度を認知するということが十分に必要であると思う。これは、そこに住んでいる人達だけでなく全国の人達も他人事と考えずに知識を持つ必要があると思う。ここまで広島市を中心に話題にしてきたが、西日本豪雨は他の県でも土砂災害をひきおこしている。その中に四国・愛媛県がある。愛媛県はみかんの栽培がさかんだ。今の時期はスーパーにも多く出回っているはずだった。しかし、今回の西日本豪雨による土砂災害で大きなダメージを受けた。愛媛のみかんだけではない。近畿から九州にかけての広いはん囲で果物や野菜に被害が出た。そしてこの影響で果物や野菜の値段が高騰して家計を圧迫するような事態となった。このように、土砂災害は、様々な面でたくさんの人々に影響をもたらすのである。

今日、私達が生活をしている日本では、夏場の危険な暑さ。それにとまって発生するゲリラ豪雨などの異常気象といった想像では考えられないような現象が多く発生している。今まで参考にしてきた「想定」という言葉が参考にならない時代になってきていると思う。土砂災害も同じである。「想定」というもので物事を考えていくのではなく、「想定外」という考え方を持っていかなければならないと思う。だから、そのためにも、今現在の想定よりももっと悪化した場合のケースも考えて対策をしていかなければならないと思う。そして、対策を最も重要視して考えなければならないのは、土砂災害の危険性のある地域に住んでいる住民たちであると思う。行政などがよく調べても、その土地のことを一番よく理解しているのはその土地に住む住民の人々であると思う。一人ひとりが小さな所から努力をつみかさねていくことで、それがやがて大きな努力となって結果になると思う。私も、積極的に自分達の住んでいる地域の土砂災害に関する知識を身に付けていきたいと思う。

防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策

国は、平成30年7月豪雨等の甚大な被害を受け実施した、「重要インフラの緊急点検の結果及び対応方策」（平成30年11月27日）のほか、既往点検の結果を踏まえ、防災のための重要インフラ等の機能維持、国民経済・生活を支える重要インフラ等の機能維持の観点から、特に緊急に実施すべきソフト・ハード対策について、平成30年度補正予算より3年間で集中的に実施することとしました。（平成30年12月14日閣議決定）

本県では、国の緊急対策による国庫補助事業や防災・安全交付金事業を活用し、避難所・避難路の被災する危険性が高い箇所や、土砂・洪水氾濫により被災する危険性が高い箇所等において、土砂災害防止施設の整備を集中的に実施し、併せてソフト対策として土砂災害防止法に基づく基礎調査を実施します。

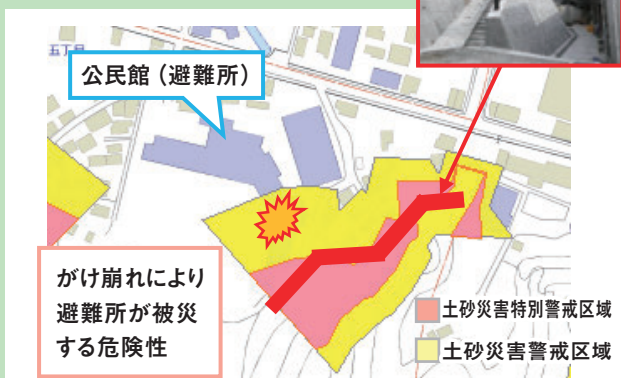
また、近年の大規模災害を踏まえ、より計画的・集中的に実施する事前防災対策について、個別補助事業制度が創設されました。

静岡県における砂防関係3か年緊急対策の概要

土砂災害警戒区域等における円滑な避難の確保に関する緊急対策

【29箇所】

○避難所や避難路を保全するための砂防関係施設の整備



中小河川緊急治水対策プロジェクト（土砂・流木対策）

【7溪流】

○透過型砂防堰堤等、土砂と流木捕捉効果の高い施設の整備



透過型砂防堰堤の新設

中小河川における土砂・洪水氾濫等の危険性に関する緊急対策

【3箇所】

○下流河川に影響を及ぼすおそれのある溪流において砂防堰堤を整備

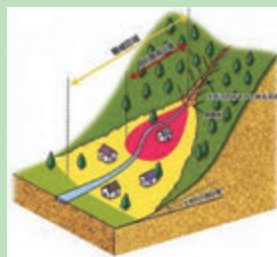
○被災のおそれが高く地域への影響の大きな石積堰堤を改築



土砂災害対策のためのソフト対策に関する緊急対策

【総数18,581箇所】

○平成31年度中に全ての土砂災害危険箇所の基礎調査を完了し、一巡目の区域指定の完了を目指す



3か年緊急対策の予算状況

事業名	当初予算(A)	補正予算(B)
防災・安全交付金	3,850.5	789.2
※国内示	B/A =	0.20

事業名	H30予算(C)	H31予算(D)
通常国庫補助事業	-	1,459
防災・安全交付金	4,441	5,263
計	4,441	6,722
※県予算	D/C =	1.51

緊急自然災害防止対策事業(新規) ～「3か年緊急対策」事業と連携した県単独事業の創設～

国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」と連携した新規の県単独事業として、「緊急自然災害防止対策事業」を平成31年度から2か年で実施します。

砂防関係の平成31年度の全体事業費は7億5,000万円となっており、近年の甚大な土砂災害を踏まえ、土砂・洪水氾濫及びがけ崩れにより地域の円滑な避難を阻害するおそれがある土砂災害危険箇所における施設整備(砂防・急傾斜)を緊急的に実施します。

平成31年度 緊急自然災害防止対策事業

種別	砂防	急傾斜
全体事業費(千円)	750,000	
事業費(千円)	435,000	315,000
実施箇所数	14箇所	7箇所
事業内容	溪流保全工等	擁壁工等

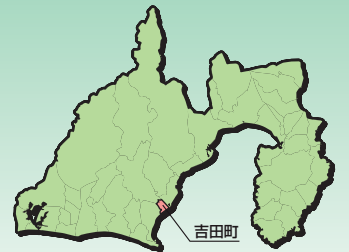
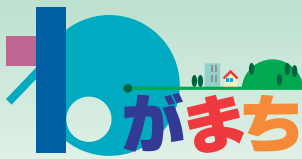
災害等予防保全緊急対策事業(新規) ～「インフラ長寿命化計画」を踏まえた県単独事業の創設～

国土交通省が定める管理方針「インフラ長寿命化計画等」を踏まえた新規の県単独事業として、「災害等予防保全緊急対策事業」を平成31年度から2か年で実施します。

砂防関係の平成31年度の全体事業費は2億3,700万円となっており、点検により対策が必要となった施設の長寿命化を図るための改築や補修等を緊急的に実施します。

平成31年度 災害等予防保全緊急対策事業

種別	砂防	地すべり	急傾斜
全体事業費(千円)	237,000		
事業費(千円)	55,000	30,000	152,000
実施箇所数	3箇所	1箇所	16箇所
事業内容	堰堤改築等	集水井改築	法枠工補修等



吉田町

建設課

吉田町は静岡県の中西部、一級河川大井川の右岸に位置し、美しい駿河湾にのぞむ豊かな自然に恵まれた町です。

東日本大震災以降8年、津波防災まちづくりにひた走り、いち早く津波避難タワーの設置を終え、現在では、「新たな安全」と「新たなにぎわい」創出を一体的に進めるシーガーデンシティ構想を着実に進めております。

また、母子保健支援、こども医療費助成、小中学校の教室へのエアコンの導入やトイレの洋式化を始めとする教育環境の整備など、妊娠・出産・育児をトータルでサポートする環境づくりにも取り組んでおり、産みやすく育てやすいまちづくりにも取り組んでいます。

そのほか、町の南東部、大井川の河口に14.2haの広さを持つ県営吉田公園では、一年を通じて四季折々の花を楽しめ、吉田漁港では、しらす漁が盛んで、美味しいしらすを食べられます。

『豊かで勢いがあり、心を魅了する』まちへと躍進する吉田町へぜひ一度、お立ち寄りください。



吉田町PR部長 よしくん



シーガーデン整備イメージ図



チューリップまつり(吉田公園)



とれたて新鮮な生しらす

第23回静岡県砂防ボランティア協会総会及び研修会

1月29日（火）に、「平成30年度（第23回）静岡県砂防ボランティア協会総会及び研修会」をクーポール会館（静岡市）で開催しました。

総会では、会員の土砂災害・全国防災訓練及び急傾斜地パトロール等の参加、並びに会長の全国連絡協議会や砂防ボランティア全国の集い（徳島県徳島市）への出席などの平成30年度の活動報告と、平成31年度の活動予定の確認、新規会員の紹介を行いました。

また、総会終了後、北沢砂防課長による「静岡県の砂防を取り巻く状況」と題した研修を行いました。



総会の様子

第59回砂防および地すべり防止講習会

2月14日（木）・15日（金）に、「第59回砂防および地すべり防止講習会」が砂防会館別館（東京都）で開催されました。

講習会では、はじめに栗原砂防部長から、「これからの砂防について考える」と題した特別講演が行われ、砂防堰堤の効果や砂防行政に関する最新の話題について紹介がありました。

このほか、愛媛県の清家砂防課長や広島県熊野町の三村町長から平成30年7月豪雨、北海道大学の林特任教授から北海道胆振東部地震による土砂災害の概要など、昨年発生した大規模な土砂災害を中心に、砂防に関する様々な講演がありました。



栗原砂防部長の特別講演

第5回伊豆東部火山群火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会の開催

3月6日（水）に、「第5回伊豆東部火山群火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会」を県熱海総合庁舎（熱海市）で開催しました。

今回の検討会では緊急減災対策砂防計画の案について審議していただき、委員の皆様から、様々な視点で有意義なご意見をいただきました。

また、議事終了後には、会員の島崎中部地方整備局河川部総合土砂管理官から、先進事例として御嶽山噴火への対応について紹介いただきました。

検討会での意見をもとに、砂防計画を3月29日に策定・公表し、平成31年度から、関係行政機関で各種取組の調整や情報共有等を図りながら、計画を推進していきます。



第5回検討会の様子

第9回富士山火山防災対策協議会

3月19日（火）に、火山専門家や国、静岡県・山梨・神奈川県、市町村等の90を超える関係機関で構成される「第9回富士山火山防災対策協議会」が、プラサヴェルデコンベンションホールA（沼津市）で開催されました。

今回は、平成30年度の協議会における事業報告や平成31年度の事業計画（案）のほか、富士山ハザードマップ改定に関する中間報告について説明があり、いずれも了承されました。



会長挨拶（川勝静岡県知事）

第11回由比地すべり対策検討委員会

3月20日（水）に、地すべり専門家や国、静岡県、JR東海等の関係機関で構成される「由比地すべり対策検討委員会」が、パルシェ7階第2・第3会議室（静岡市）で開催されました。

今回は、第10回委員会での指摘事項及び検討部会での審議事項とその後の対応の報告や大押しブロックの地すべり対策計画のほか、由比地すべりにおける地震時照査の検討状況と末端斜面対策計画について、事務局の国土交通省富士砂防事務所より説明があり、いずれも了承されました。



検討委員会の様子

門島地すべり災害対策事業完成式の開催

3月22日（金）に、「門島地すべり災害対策事業完成式」を、浜松市天竜区春野町の現場で開催しました。

完成式は、国土交通省砂防部の岡本保全課長、中谷県議会議員をはじめ、関係の皆様方多数の御出席のもと、盛大に行われました。

この地すべり災害は、平成25年4月に大規模な斜面崩壊が発生し、斜面下部を流れる一級河川杉川を埋塞させ、一時的に6世帯24名の住民が避難するなど全国的に注目されました。これまで災害関連緊急地すべり対策事業や河川災害復旧事業等により、対策工事を進め、この3月に完成を迎えることができました。

この工事の完成により、門島地区の安全度が高まり、地域の皆様が安心して暮らすことができました。



くす玉開披の様子



岡本敦国土交通省砂防部保全課長の祝辞

募集・お知らせコーナー

土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も、土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止の重要性を伝えるため、絵画・作文を募集します。募集要領については、各小・中学校へ送付しますが、砂防課ウェブサイトでもご覧いただけます。

【募集対象】 小・中学生 【応募期間】 6月1日(土)～9月15日(日)

【応募方法】 作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記してください。

【応募先】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

静岡県交通基盤部砂防課 砂防班

TEL (054) 221-3044 FAX (054) 221-3564

詳細は、砂防課ウェブサイトからもご覧いただけます。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



第12回 親子で大谷崩の森づくり

日本三大崩れの一つでもある大谷崩。今から300年程前の宝永地震によって崩壊したと言われています。本来の自然を取戻すべく今もなお様々な工法によって緑化が行われています。今回は、この大谷崩にみなさんの手で植樹し、植樹を通じて自然・山・水に触れて「いのちの大切さ」を学ぶことの出来る体験への参加をお待ちしております。

【募集人員】 60名 【日時】 平成31年6月8日(土) 9:00～16:00(小雨決行)

【参加費】 無料(昼食は各自用意してください) 【集合】 静岡駅北口 8:45

【問合せ】 いのちの森づくり静岡少年団を支援する会 TEL (054) 246-7767

土木事務所企画班砂防担当者の紹介

県砂防課では、出前講座および講習会を随時受付けております。

事務所	企画TEL・FAX	担当者
下田土木	TEL:(0558)24-2113 FAX:(0558)24-2123	井邑悟史 石野勝之
熱海土木	TEL:(0557)82-9172 FAX:(0557)82-9110	岩本仁志 永田浩司
沼津土木	TEL:(055)920-2212 FAX:(055)922-6684	小田匠 金子賢太
富士土木	TEL:(0545)65-2794 FAX:(0545)65-2270	礮ひかり

事務所	企画TEL・FAX	担当者
静岡土木	TEL:(054)286-9322 FAX:(054)286-9375	久木田真次 小松原健太
島田土木	TEL:(0547)37-5272 FAX:(0547)37-6183	平野秀直
袋井土木	TEL:(0538)42-3216 FAX:(0538)42-1782	山本絢也
浜松土木	TEL:(053)458-7266 FAX:(053)458-7193	青島弘明



【表紙写真】

つつじの咲く頃 (撮影地:富士宮市)
勝又 肇さん(静岡県富士宮市)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編集・後記

平成31年度がスタートしました。この4月より当支部の事務員として、お仕事をさせて頂くことになりました。「砂防だより」の編集作業を通じて「土砂災害対策」について勉強しながら、皆様のお役に立てる誌面づくりに努めてまいります。今後も「砂防だより」を御愛読いただきますようよろしくお願い致します。

全国治水砂防協会静岡県支部 事務員 舟原真美

砂防だよりは砂防課ウェブサイトでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



第198号 発行日:平成31年4月15日

編集・発行:全国治水砂防協会静岡県支部

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課内

TEL(054)221-3042 FAX(054)221-3564 E-mail:sabo@pref.shizuoka.lg.jp